

中里小学校 学校だより

おおくす

令和6年6月11日

第3号

文責 大石泰文

学校教育目標：夢をもち、みんなと共に生きる子どもの育成～中里仲よし(共に学び、共に育つ)～

いのちかがやく強調月間の取組

佐世保市の子どもたちが、幸せと生きがいを感じながら、いのちを輝かせ笑顔あふれる人生を送ってほしい、との願いのもと始まった「いのちかがやく強調月間」。

5月31日(金)の校長講話では、「いのちをいただく」という絵本の読み語りを行いました。その日、5年生の子どもたちに感想を尋ねたら「可哀そうだった・・・。」「みんなのために殺されるなんて・・・。」その後の言葉がうまく出てこない様子でした。しかし、私は、そのうまく言葉で表現できないところをしっかりと考えようとしてくれただけで十分でした。子どもたちは、次のようなことを考えてくれたのではないかと思います。

命の大切さ。でも、その大切な命を頂かないと人は生きていけないということ。私たちの命は、多くの命に支えられているということ。だからこそ、食べ物は有難いし、粗末にしてはならないこと。

6月4日(火)には全学年を対象とした「交通安全教室」を実施しました。自分のいのちを守る学習です。「横断歩道の渡り方」「死角の実感」「飛び出しの危険性」の3か所に分かれて共立自動車学校の先生方に実演・指導していただきました。

この学習を通して安全な登下校の仕方について理解できた、と思い安心していたのですが、白線を飛び出すなど危険な下校の様子が情報として入ってきて職員一同驚いたところでは、「一列登校」(下校も。走りません。)「歩いて登校」「中里駅は通りません」などの交通安全指導は学校で繰り返し行っておりますが、ご家庭でももう一度お話をお願い致します。



この「いのちかがやく強調月間」に入り、1年生が生活科で東漸寺広場での「生き物さがし」、6月6日(木)～7日(金)には5年生が佐世保青少年の天地で「宿泊体験学習」、6月10日(月)には4年生が佐世保空襲を語り継ぐ会の木原先生をお招きしての「平和学習」を行いました。また、今週は2・3・6年生が佐世保特別支援学校との交流学習に出向くなど、思いやり深く人と関わることのできる心豊かな子どもの育成を目指して全校で様々な教育活動に取り組んでいるところです。

最後の週の6月24日(月)～28日(金)には、学校開放週間を実施します。期間中は、道徳の授業参観も計画していますので、ぜひ、かがやく子どもたちの様子をご覧ください。(詳しくは5月14日配付のお知らせをご覧ください。)

学校と地域でつくる子どもたちの未来

中里小学校には、子どもたちを見守ってくださる地域の方がたくさんいらっしゃいます。

★交通指導員の皆様等による『登校見守り』

下本山交差点や中里中学校下など、交通量の多い所で朝の見守りをさせていただいております。雨の日も、風の日も子どもたちのために交通安全の見守りをさせていただいているところです。また、子どもたちと一緒に登校してくださる保護者の方もいて、大変助かっています。

★図書ボランティア お話ポツケによる『読み語り・環境整備』

月曜日の朝の読み語りや図書室の環境整備を通して、子どもたちの心を育ててくださっております。

★中里皆瀬地区 民生委員 児童委員 協議会の皆様の取組

中里小学校の子どもたちのために何かできないだろうか・・・ということで、5月13日(月)から17日(金)の間、朝のあいさつ運動を実施して下さったり、5月22日(水)は1時間目に学校訪問をして下さったりと積極的に活動していただいております。今後、可能な範囲で関わりを続けることが出来れば有難いです。

★中里地区老人会の皆様による『朝のあいさつ運動』

毎月はじめの登校時間帯に、20名程の方に、あいさつ運動を行っていただいております。子どもたちのあいさつの意識だけでなく、地域の皆様に見守られているという意識も高まっています。



地域の皆様、毎日ありがとうございます！